

今年の東京は寒い日、暖かい日が交互に訪れ、
着る物に困ってしまいます。
家のそばで梅の花を見つけました。
春が近づいているのは間違いありませんね。



◆ 第 35 回日本語弁論大会 2 月 1 0 日に対面で開催

全専日協の 35 回目の日本語弁論大会が 2 月 10 日（金）に開催されました。

全国から 14 名の発表者が代々木の文化学園に集結しそれぞれの思いを日本語で語りました。当日の朝は雪に見舞われたものの会場は発表者の皆さんの熱い言葉とそれに耳を傾ける聴衆とがひとつになり、あっという間の 3 時間でした。



古屋和雄大会実行委員長

開会の挨拶は大会実行委員長の **古屋 和雄 理事**（文化外国語専門学校）でした。

「話す人は一生懸命自分の考えを述べ、聞く人はその言葉を理解しようと頑張ってください。お互いが努力して初めてコミュニケーションが成立します。今世界は平和が脅かされています。そんな時代だからこそ、言葉で理解し合うことが大切です。」

と平和への願いも込めたご挨拶でした。

大会の開催にあたっては、今回も多くの団体、企業にご協力いただきました。改めてお礼申し上げます。ありがとうございます。

ご後援 文部科学省
日本私立大学協会
全国専修学校各種学校総連合会
（公社）日本語教育学会
（一財）日本語教育振興協会

ご協賛 （株）東京教育公論
（株）凡人社
（株）ライセンスアカデミー

◆ 文部科学大臣賞は メイジントウさん



メイジントウさん

(神戸YMCA 学院専門学校) ！

今大会でもっと優れたスピーチとして文部科学大臣賞に輝いたのは神戸 YMCA 学院専門学校のメイジントウさん（ミャンマー）でした。おめでとうございます！

「私の言葉、届いていますか」（要旨）

私は母国語のミャンマー語の他に複数の外国語が話せますが、互いに共通の言語で話しているからと言って、自分の言いたいことが相手に本当に届いているのでしょうか？

来日して、契約した寮の場所を探していた時、道に迷って通りがかりの日本人に助けを求めたことがありました。その人は、私のむちゃくちゃな日本語に一生懸命に耳を傾けてくれました。私も相手に分かってもらいたいという気持ちで頑張りました。今考えると、日本語で通じ合えたというより、気持ちで通じ合えたのだと思います。「伝えたい、理解したい」という気持ちが、道に迷った私と見知らぬ親切な日本人をつないでくれたのです。

私は多言語通訳になるために、日本に来ました。この体験をもとに、世界で起きている紛争、経済危機、環境破壊などの問題の解決に、少しでも役立てるように、通訳者として努力していきたいと思っています。

「私の言葉、届いていますか」と問いかけてスピーチを終えたメイジントウさんに、「はい、ちゃんと届いていますよ」と心の中で答えたのは私だけではなかったと思います。



◆ 外務大臣賞を受賞したのは

ティン ティン エー
THIN THIN AYEさん (大阪YWCA 専門学校)

文部科学大臣賞に次ぐスピーチに贈られる外務大臣賞を受賞したのは、
大阪 YWCA 専門学校のティン ティン エーさん（ミャンマー）でした。

「私の人生の旅」(要旨)

私は2022年3月28日に介護の留学生としてミャンマーから来日したビルマ人です。私はミャンマーで日本人が寄付してくれた学校に通っていたことから、日本語を勉強し始めました。20歳のころ、水難救助隊でボランティアをしたのをきっかけに手助けを必要とする人の力になり、社会で必要とされる人になりたいと思いました。老人施設でアルバイトをしたとき、目上の人によく叱られたりしますが、それは自分の成長のためだと思って何でも身に付けています。今までの自分がどれくらい成長できたのか、自分を振り返ってみました。今アルバイトしている施設には認知症の方が多くいます。認知症の方にたまにバカと言われたりします。でも、自分たちが心を開けば、認知症の方たちの気持ちも理解できると思います。みなさんも今していることは自分に向いている仕事ですか？ 毎日充実していますか？ 自分がやりたいことを仕事として人生の旅を楽しく続けていきましょう。



THIN THIN AYE さん

入賞者の皆さんを紹介してまいりましょう。文部科学大臣賞、外務大臣賞に続くのは全国専門学校日本語教育協会の会長賞です。

文部科学大臣賞

「私の言葉、届いていますか」

メイジントウ (ミャンマー) 神戸 YMCA 学院専門学校



外務大臣賞

「私の人生の旅」^{ティン ティン エー} THIN THIN AYE (ミャンマー)

大阪 YWCA 専門学校



会長賞

「私にとっての青春」

^{マイ ゴック トウ キウ} MAI NGOC TU KIEU (ベトナム)

大阪バイオメディカル専門学校



そして優秀賞 3 名、審査員特別賞 2 名のご紹介です。

優秀賞

「アスペの毎日」

オレゴード カサンドラ シィリ マリーア
OLEGAARD CASSANDRA SIRI MARIA

(スウェーデン) 文化外国語専門学校



「日本人のスピリット」

プラムアルサブ プ サ ヤ

Pramualsub Busaya (タイ) 外語ビジネス専門学校



「恋愛は本当に自由だと思いますか？」

フ トウ

符 騰 (中国) 専門学校麻生工科自動車大学校



審査員特別賞

「いちばん美しい声といちばん素敵な手」

ミジドサムダン ムンフバヤスガラント

MIJIDSAMDAN MUNKHBAYASGALANT (モンゴル)

岩谷学園テクノビジネス横浜保育専門学校



「虹」ティモシェンコ・ダリア

(ベラルーシ)

学校法人石川学園横浜デザイン学院



深堀 和子 会長（外語ビジネス専門学校）の
ご提案で今大会から入賞ではなかった皆さん
には「奨励賞」として賞状を贈呈すること
になりました。



代表して関西外語専門学校の チャン クリスティー 陳 瀨 婷 さんが
深堀会長から奨励賞の賞状を受け取りました。

発表者の皆さん、本当に素晴らしいスピーチを
ありがとうございました！！

奨励賞

「聞き・聞く・聞け・聞こう」

チャン クリスティー
陳 瀨 婷（香港）

関西外語専門学校



「人生で3回結婚すること」 シャークア プラビナ SHAKYA PRABINA（ネパール）
学校法人江副学園新宿日本語学校



「日本語のもつ力」

リン ユウキ
林 宥 騏（台湾）

ECC 国際外語専門学校



「日本語を勉強する意味は何でしょうか？」

イン ルーユエン
尹 汝 元（中国） 専門学校アジア・アフリカ語学院



「私にとって＜芸術＞とは何か」

ゴ ケイイン
呉 啓 韵（中国）

大阪 YMCA 国際専門学校



「吾唯足知（われただたるをのする）」

スターナッド グレゴリー ジョン
STRNAD GREGORY JOHN（アメリカ）

福岡外語専門学校



激戦の弁論大会を長時間にわたって審査してくださったのは五名の先生方です。

審査員の先生方

- ・文化庁 国語課長補佐 **堀 敏治** 先生
- ・国士舘大学 21 世紀アジア学部 教授 **栗原 通世** 先生
- ・ラボ日本語教育研修所 所長 **黒崎 誠** 先生
- ・杉並区立中瀬中学校 校長 **香西 雅斗** 先生
- ・宣教師 **キャロリン・愛子・ホーランド** 先生



審査員の先生方からのご感想をご紹介します。



文化庁 **堀 敏治** 先生は「日本を選んでくれてありがとうございます」と話し始め、「文化芸術の振興という点からいえば日本の芸術に関するスピーチが聞けたのはとてもうれしかったです。皆さん全員が一番と言いたい気持ちです」と話されました。

国士舘大学 **栗原 通世** 先生は「表現力が豊かでメッセージ性が強くスピーチに引き込まれました」と評価くださり「勤務している大学に戻ったら学生たちにこんなに頑張っている留学生がいるんだよと伝えようと思いました」とも話されました。



ラボ日本語教育研修所の **黒崎 誠** 先生は「心が揺さぶられるスピーチでした。そして皆さんの発音の良さには驚きました。日本語を勉強している学生たちのお手本になると思います」と日本語教師ならではのコメントに続けて「審査なので涙をのんで順番をつけました」と付け加えました。



中瀬中学校校長の 香西 雅斗 先生は「中学生に、留学生が短期間でこんなに日本語が上手になるのだから、みんなは英語を頑張りなさいと言おうと思います」と笑顔で話され「同じアジアの中のネパールの文化を初めて知り、勉強になりました」と印象に残ったスピーチに触れられました。

宣教師キャロリン・愛子・ホーランド先生は「外国語が話せる人は視野が広く、考える力、相手を受け入れる力があります。皆さんはその経験者です。外国語を学ぶということはお互いを理解することにつながるということを周りの人に伝えてほしいです」と発表者にメッセージを贈り、「今夜はぐっすり眠れますね」と優しく語りかけました。



先生方のお話にあったように甲乙つけがたいスピーチに順位をつけるという無理難題をお引き受けくださった審査員の先生方にここで改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

最後に、全国専門学校日本語教育協会 深堀 和子 会長（外語ビジネス専門学校）からご挨拶がありました。「可能性という言葉がずっと大切にしてきました。



今回のスピーチでは言葉の力、言葉の可能性を感じることができました。人は言葉によって勇気づけられたり、傷つけられたりします。みなさんには言葉を大切に、母国と日本の懸け橋になってもらい、日本との友好関係にぜひ貢献してもらいたいです」

と、発表者の皆さんに今後のさらなる活躍を期待する言葉を贈りました。

3年ぶりの対面開催を無事に終えることができたのは、出場者の皆さんの日ごろの努力と、それを支える参加校の先生方のご尽力のおかげです。会場でご覧になった会員からは「本当にレベルが高かった」「対面の一体感はやはりいい」とさっそく感想をいただきました。またオンライン配信をご覧になった会員からは「クラスメートと共に応援できてよかった」「臨場感が伝わってきた」といったコメントを頂戴しました。

個人的には、スピーチ終わるたびにスピーチをたたえ拍手を贈り合う発表者の皆さんの姿に心が温くなりました。

文化外国語専門学校 日本語通訳ビジネス科の2名の留学生が見事に司会を務め切ったことも書き添えます。



司会のルドさんとメグミさん

さあ、来年は大阪です。第36回大会もいい大会にしたいものです。そのためにも多くの会員が出場くださることを心から願っております。



記念写真が撮れるのは対面だからこそ



緊張して開会を待つ出場者



入賞者の選定をされる審査員の先生方



生配信、頑張りました！



2023年2月24日
全国専門学校日本語教育協会
ニュースレター担当